

建築物の耐火性能に関する基本と最近の動向

オンライン《Zoom ウェビナー》講義

【テーマ・講師】

1. 耐火とは？
2. 高温時の材料の性状及び部材の耐火性能
3. 耐火試験
4. 耐火設計
5. 耐火木造
6. 最近の耐火研究
7. 土木構造物の耐火設計

大阪工業大学 客員教授 博士(工学) **吉田 正友** 先生

◇ 日 時：令和4年7月21日(木) 10:30~16:30

＜開催にあたって＞

阪神淡路大震災後の安全性の確保、構造改革による規制緩和の促進、建築基準の国際調和の要請という社会状況の変化を背景として、建築基準の性能規定化（2000年）が行われました。一方、2011年には東日本大震災により津波火災が発生し、今後、想定される南海トラフ地震等の巨大地震による火災発生への懸念が叫ばれています。

これらの一連の動きより、耐火の面から言うと、新たな耐火設計、新たな耐火構造に関する技術開発が進められていますが、耐火設計については考え方しか明示されておらず、ツールとしては現状、十分に整備されているとは言い難い状況です。一方で、木造の耐火への利用の促進が図られています。

そこで、本セミナーでは、まず、耐火について解説します。その後、耐火にまつわる性能、設計に関する技術／研究などの取り組みの動向について詳しく解説した上で、耐火木造の利用・法改正の動きや土木の耐火の現状についても言及します。以上の内容については、建築の知識のない方にもわかりやすく解説致します。

主催：情報開発 (<http://www.joho-kk.co.jp>)

建築物の耐火性能に関する基本と最近の動向

講師:大阪工業大学 客員教授 博士(工学) 吉田 正友 先生

1. 耐火とは?

- 1) 耐火の定義 2) 法規上の耐火 3) 耐火性能 4) 性能規定

2. 高温時の材料の性状及び部材の耐火性能

- 1) 高温時の構造材料の性状(鋼材、コンクリート)
2) 構造部材の耐火性能(鋼構造、鉄筋コンクリート造)

3. 耐火試験

- 1) 様々な耐火の火災想定 2) 耐火関係試験装置 3) 耐火試験の実施例

4. 耐火設計

- 1) 耐火設計の考え方 2) 適用事例 3) 耐火設計の問題点と課題

5. 耐火木造

- 1) 木材の高温時の性状 2) 木構造の耐火性能 3) 耐火集成材の利用 4) CLT の活用
5) 最近の法改正の概要

6. 最近の耐火研究

- 1) 最近の研究内容 2) 既成コンクリート杭の柱への耐火適用
3) 地震火災に対する鉄筋コンクリート柱の耐火性能
4) 土木分野における耐火の研究例 5) その他

7. 土木構造物の耐火設計

- 1) 土木分野における耐火の現状 2) 土木分野の耐火設計基準

質疑応答

10:30~16:30(12:00~12:45/14:15~14:30/休憩)

申込方法【弊社 E-mail(info@joho-kk.co.jp)】宛に《7月14日》までにお申し込みください。

参加講座名、会社名、所属、氏名、TEL、メールアドレスをご記入のうえご送信ください。

お申し込み受付時に、参加者様向け手順書をお送りいたします。

受講日のおおよそ5日前に、テキストを郵送にてご送付いたします。

請求書、テキストの郵送先が会社住所と異なる場合は受け取り可能な住所をご記入ください。

お問い合わせ先：TEL 03(3737)5765 (株)情報開発 〒144-0045 東京都大田区南六郷 3-21-9-101

参加費 (テキスト・消費税含む)

1名につき、**44,000 円**。2名以上の場合、1名につき **33,000 円**。

*原則として開催日前日までにお支払い下さい。都合があれば後日で結構ですが予定日をお知らせ下さい

*参加費の払い戻しはいたしません、

支払方法 (銀行振込でお願いします) 口座名：(株) 情報開発

*銀行振込 三井住友銀行京橋支店 6561610(当座) 三井住友銀行東京中央支店 2790772(普通)

みずほ銀行京橋支店 1237183(普通) 三菱東京UFJ銀行八重洲通支店 4197084(普通)

*本セミナーはビデオ会議ツール(ZOOM)を使った、ライブ配信セミナーです。

*受講に当たり、環境の確認をお願いいたします。《ZOOM 公式サイトでテスト接続が可能です。

接続に関してご不明な場合は、ZOOM ヘルプセンター等でご確認ください》

*当日、可能な範囲で質疑応答も対応します。後日メールにて質問、ご相談をお受けできます。

*録音、録画はお断りします。